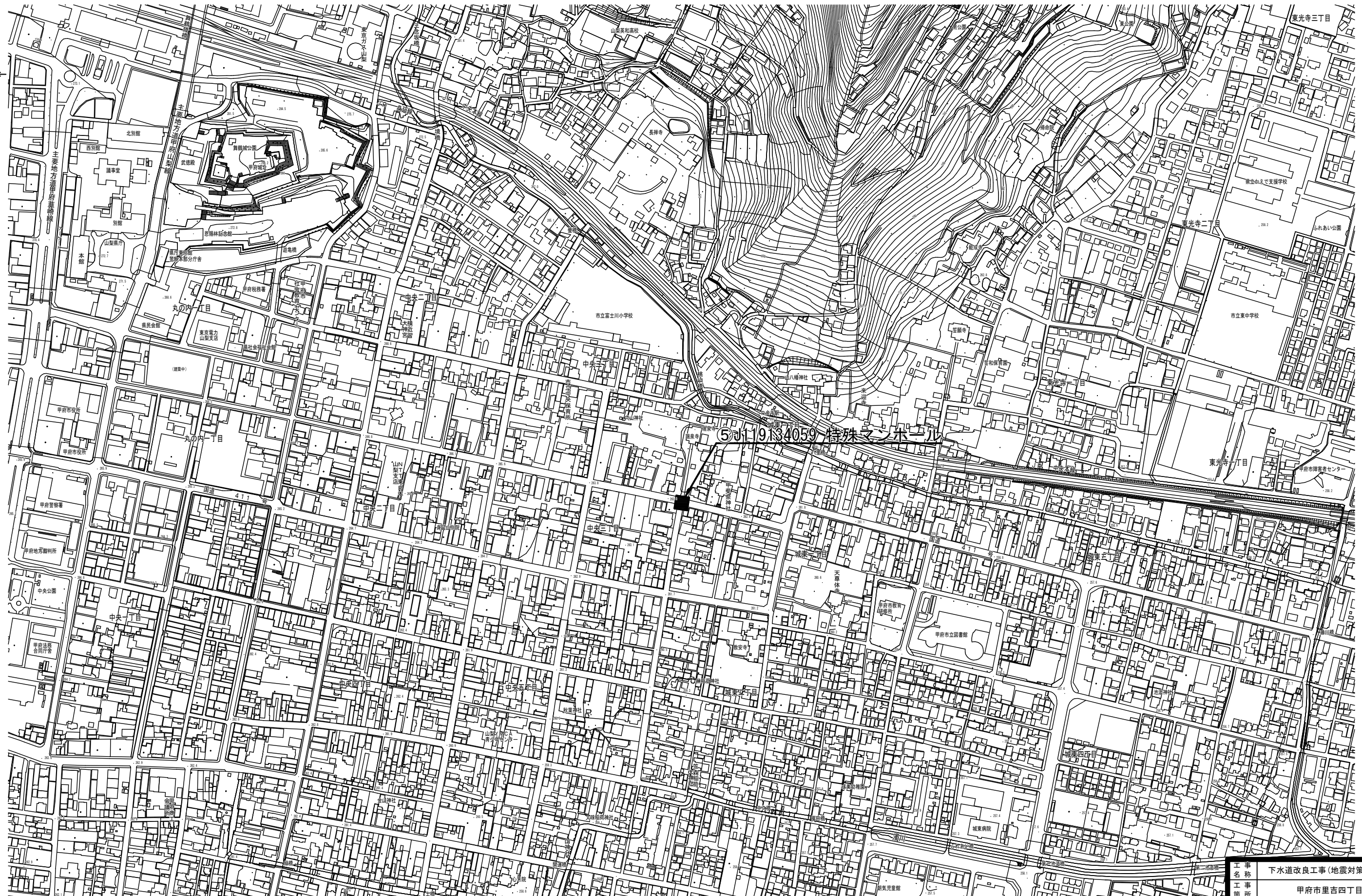
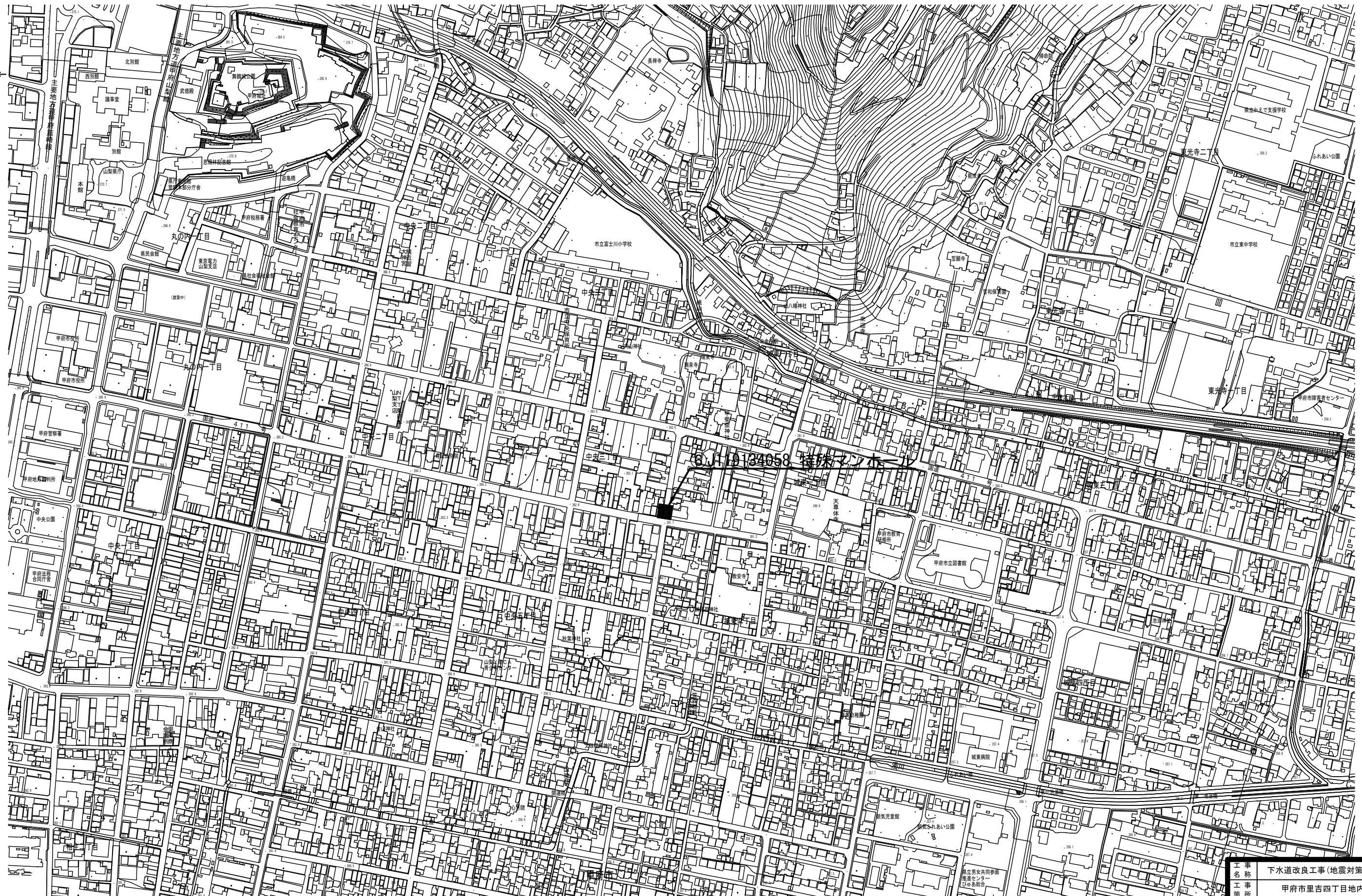


位置図 S=1:2,500



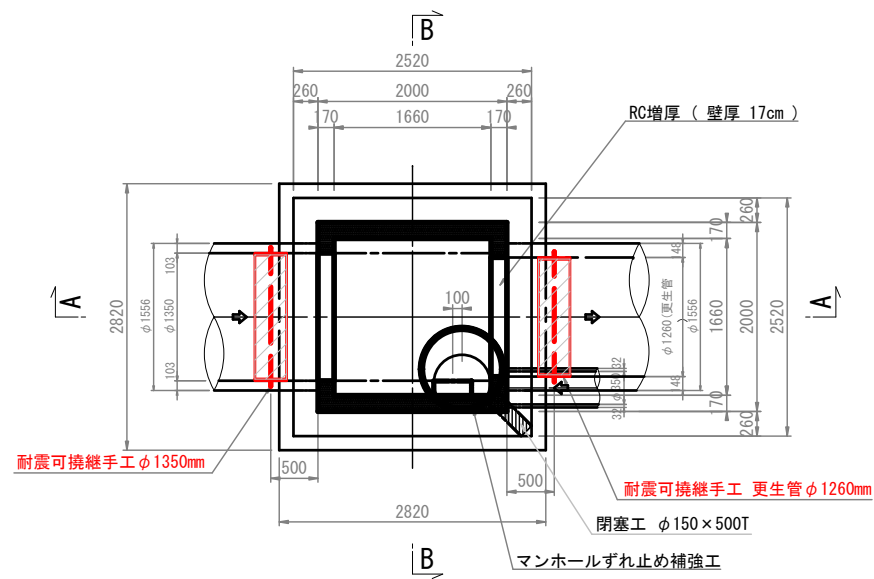
工事名称	下水道改良工事(地震対策R7-9)(余フ)		
工事箇所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図面名称	⑤J119134059 特殊マンホール位置図		
図面枚数	1 / 12	縮尺	S=1:2,500
甲府市上下水道局			

位置図 S=1:2,500

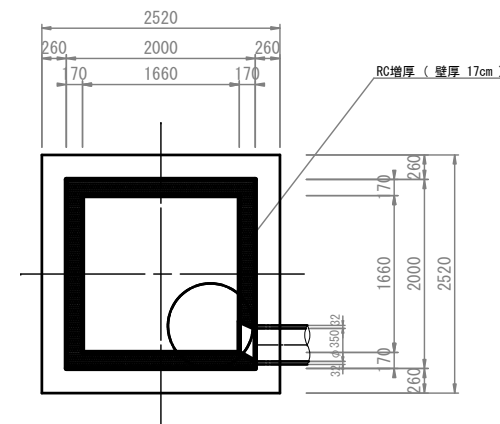


工事名称	下水道改良工事(地震対策R7-9)(余フ)		
工事箇所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図面名称	⑥J119134058 特殊マンホール位置図		
図面枚数	3 / 12	縮尺	1:2,500
甲府市上下水道局			

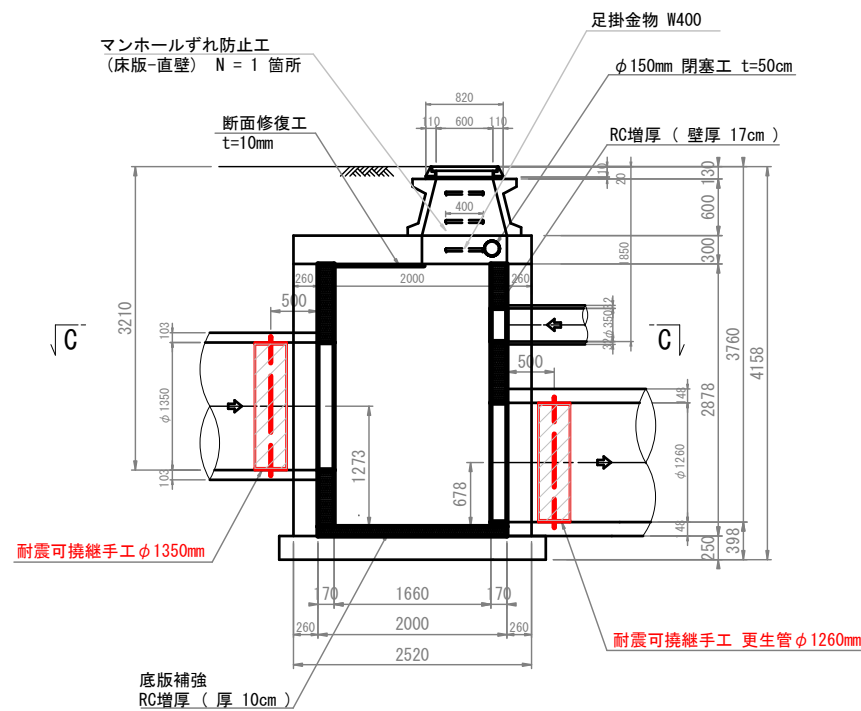
平面図



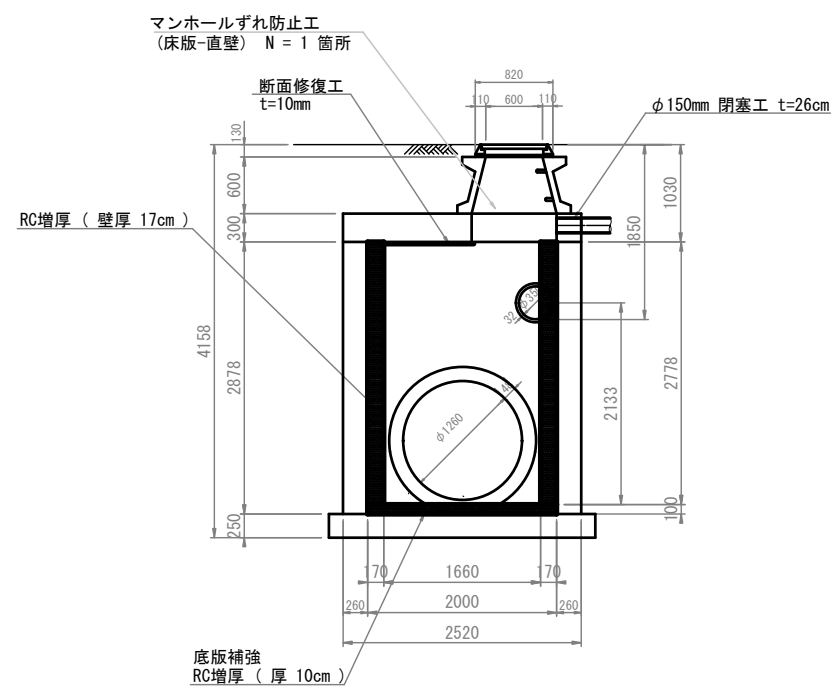
C-C 断面図



A-A 断面図

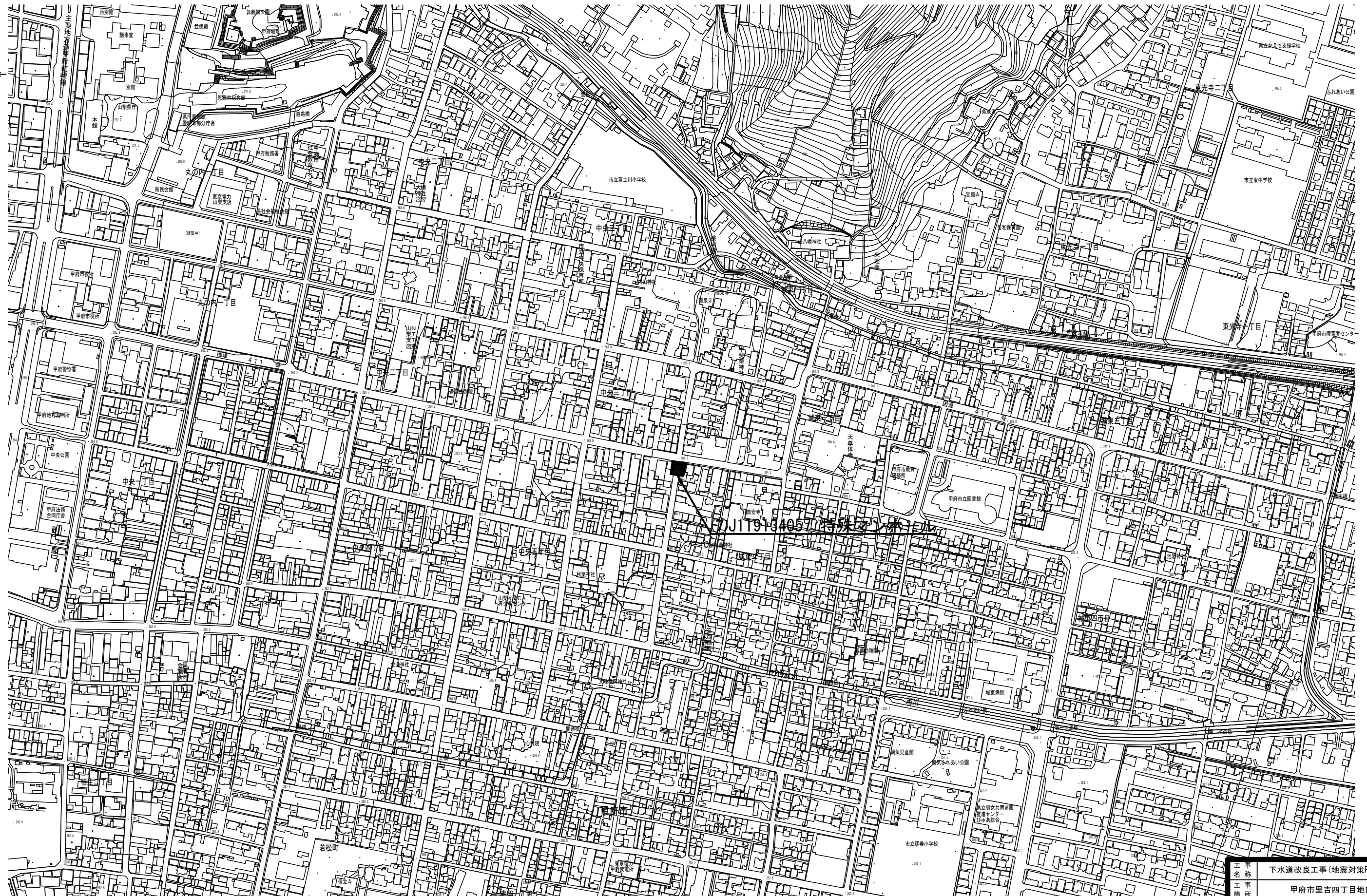
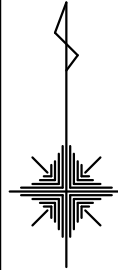


B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-9)(余フ)		
工 事 所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図 面 名	J119134058 特殊マンホール耐震補強構造図		
図 面 枚 数	4 / 12	縮 尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

位置図 S=1:2,500



工事名称	下水道改良工事(地震対策R7-9)(余フ)		
工事箇所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図面名称	㊦J119134057 特殊マンホール位置図		
図面枚数	5 / 12	縮尺	1 : 2,500
甲府市上下水道局			

7

[illegible]

A-A 断面図

マンホールずれ防止工
(斜壁-直壁) N = 1 箇所

マンホールずれ防止工
(床版-直壁) N = 1 箇所

RC増厚 (壁厚 17cm)

断面修復工
t=10mm

耐震可撓継手工 更生管 φ1260mm

耐震可撓継手工 φ1350mm

底版補強
RC増厚 (厚 10cm)
底版はつり t=27mm

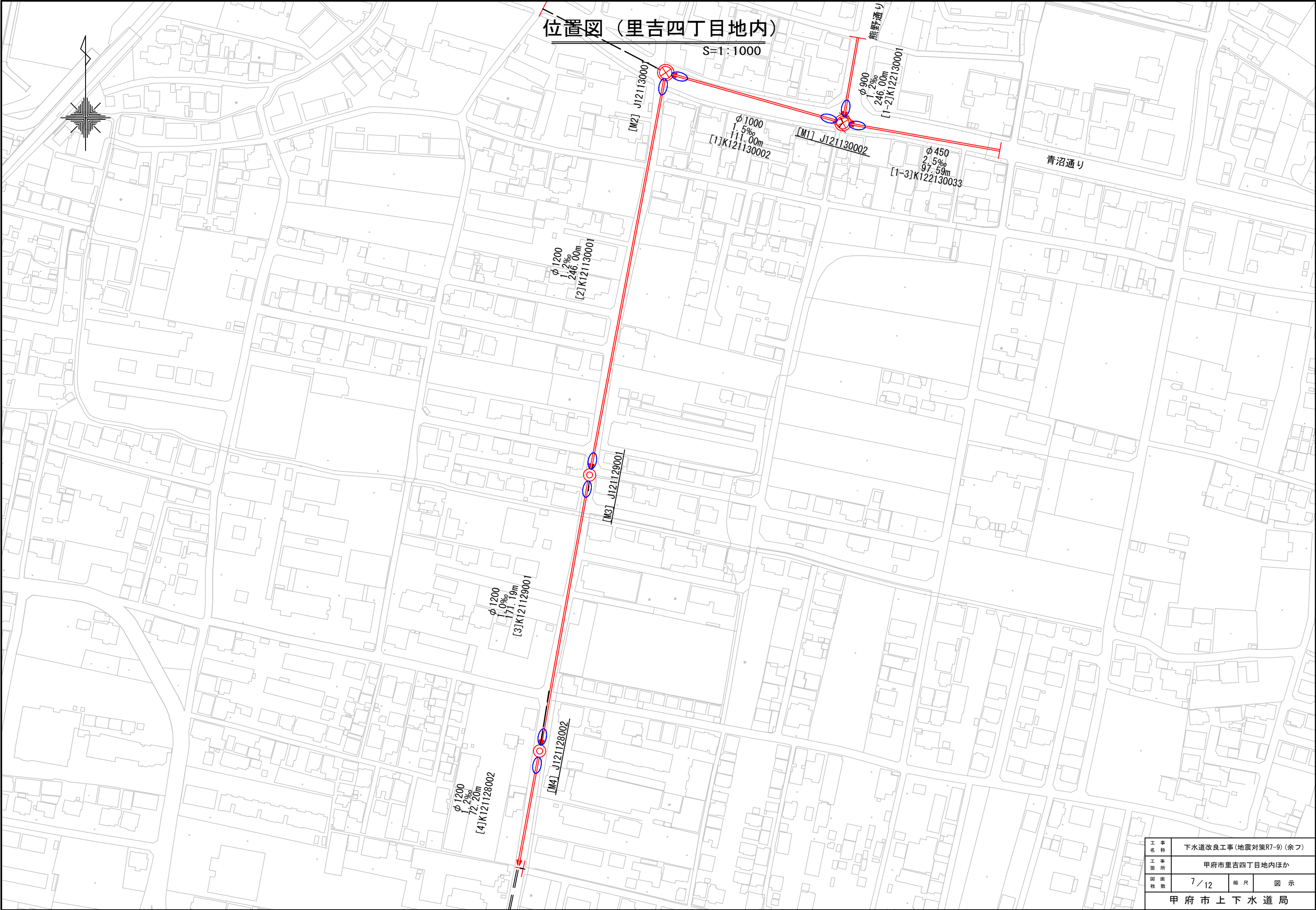
Dimensions (mm):

- Top: 820, 10, 600, 10
- Right: 10, 50, 10, 600, 600, 200, 370, 4123
- Bottom: 300, 1660, 170, 2000, 2600
- Left: 153, 3680, 508, 1260, 153
- Internal: 750, 705, 500, 103, 1350, 103, 250, 353

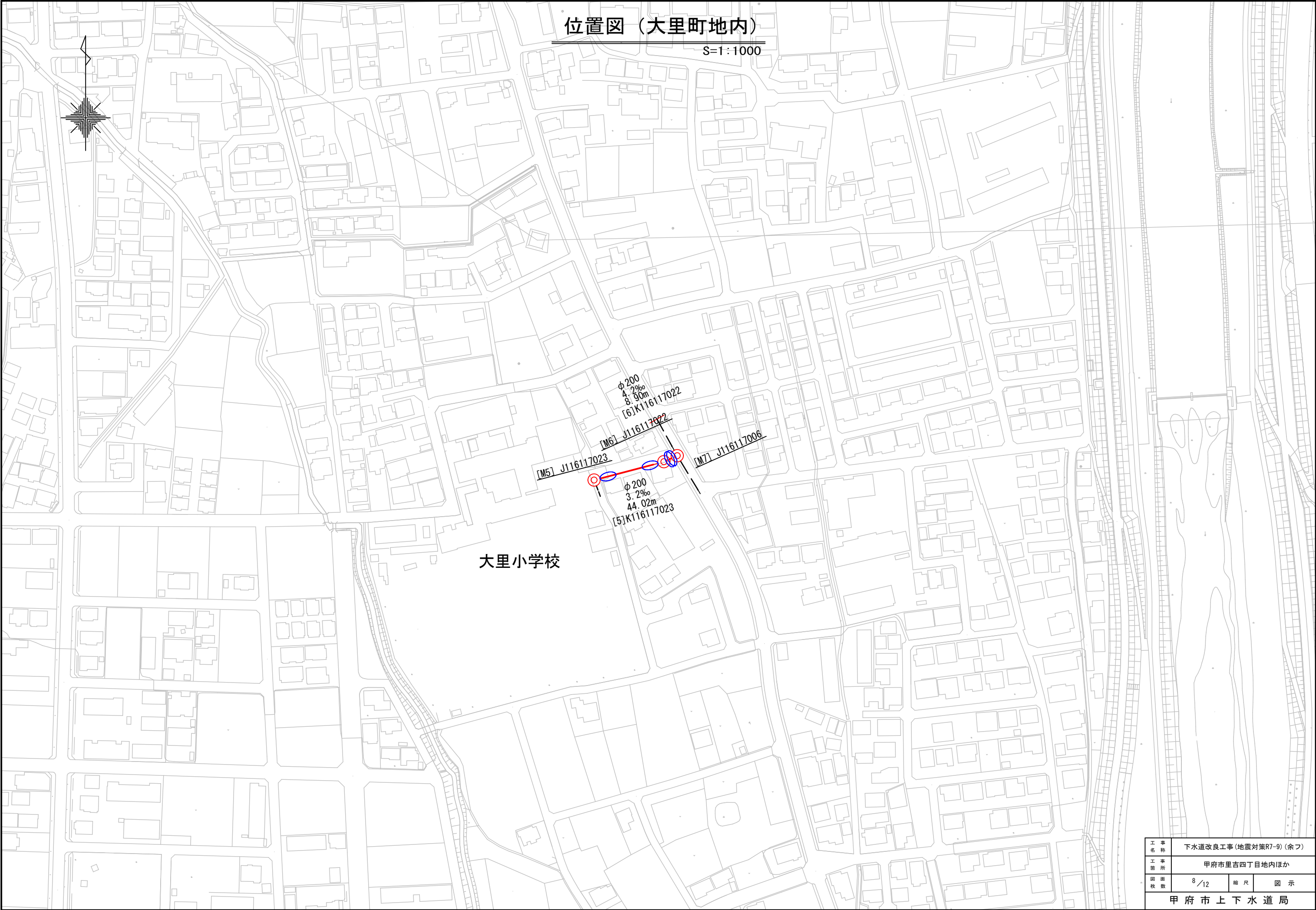
Technical drawing showing a cross-section of a reinforced concrete structure. The drawing includes dimensions for various parts:

- Top dimensions: 10, 600, 10, 820
- Left vertical dimension: 4123
- Right vertical dimension: 2080
- Bottom dimensions: 300, 2460, 70, 2800, 300, 3400
- Internal dimensions: 2800, 300, 300
- Internal circular dimension: $\phi 1350$
- Labels and notes:
 - RC増厚 (壁厚 17cm)
 - 断面修復工 t=10mm
 - 底版補強 RC増厚 (厚 10cm)
 - 底版はつり t=27mm

工事 名称	下水道改良工事(地震対策R7-9)(余フ)		
工事 箇所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図名 面称	J119134057 特殊マンホール耐震補強構造図		
図 面 枚	6 / 12	縮尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			



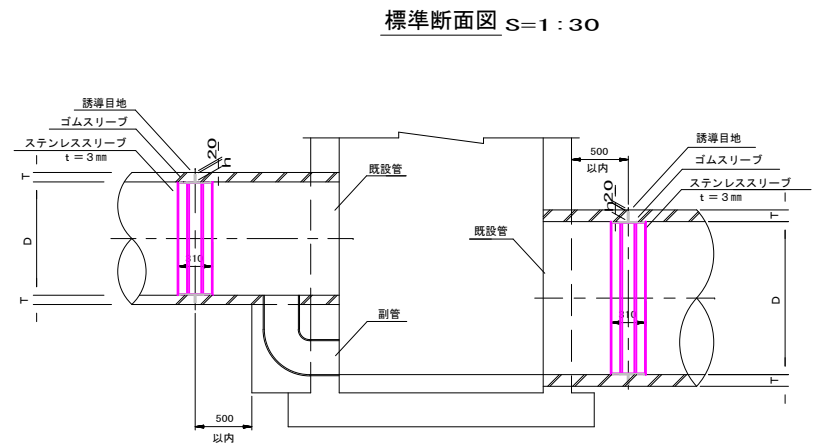
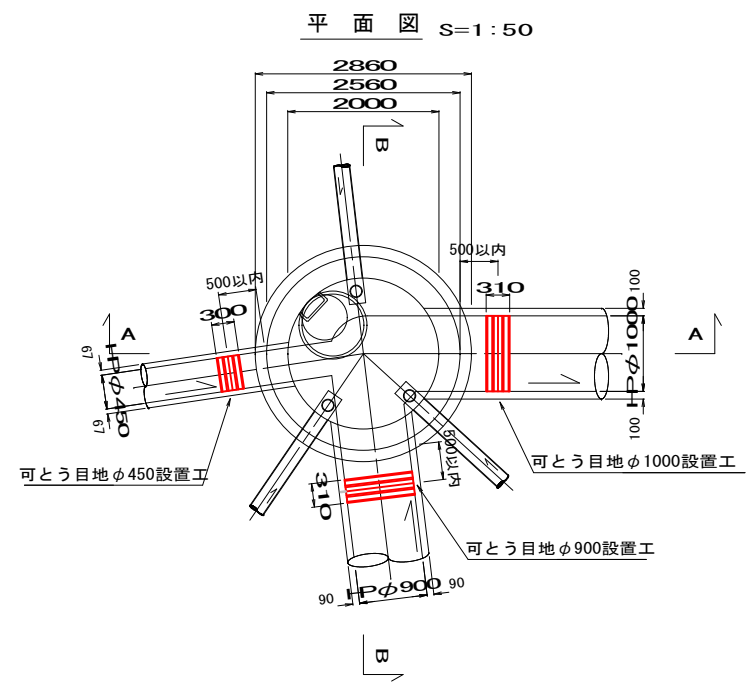
工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-9)(余フ)		
工 事 所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図 面 枚 数	7 / 12	縮 尺	図 示
甲 府 市 上 下 水 道 局			



工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-9)(余フ)		
工 事 所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図 面 枚 数	8 / 12	縮 尺	図 示
甲 府 市 上 下 水 道 局			

M1 (J121130002) 構造図

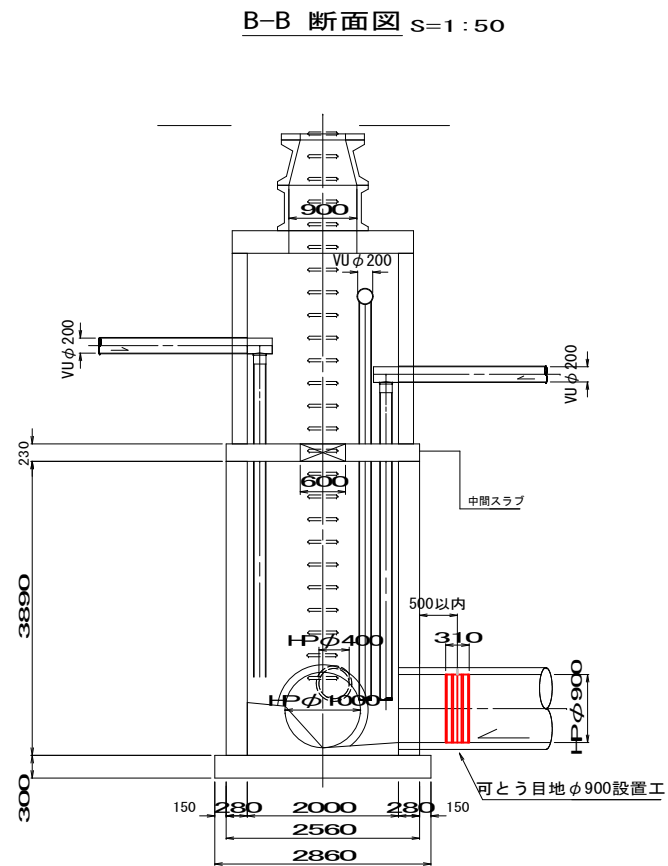
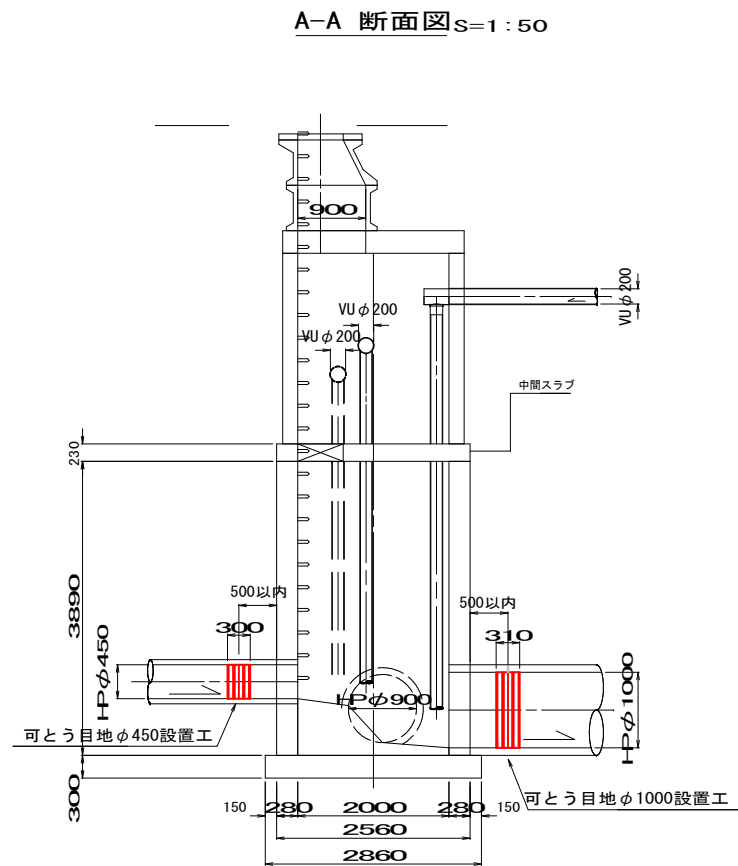
管口耐震化対策構造図



- ※ 実施にあたっては事前調査を行い壁厚、管継手位置等の測定結果をもとに誘導目地の位置を決定すること。
- 事前調査工は以下の内容とする。
- ① 人孔形状、管径の確認。
 - ② 漏水、浸入水の把握。
 - ③ マンホール、管内の損傷等の確認。
 - ④ 管内径、管厚測定(対象管)、管継手位置測定、管更生の有無。
 - ⑤ 水位、流速の測定(対象管)。
- ※ 施工時水位は管径の25%以内(最大水深0.4m)、流速は1.0m/s以内とする。
流水状況により、必要な水替えを行なうこと。

寸法表

管番号	管種	管径: D1/D2 (mm)	管厚: T1/T2 (mm)	誘導目地深: h
K12213033	HP	φ450	38	28
K12213001	HP	φ900	75	55
K121130002	HP	φ1000	82	62



管口耐震化対策構造図

[illegible]

※ 施工時水位は管径の25%以内(最大水深0.4m)、流速は1.0m/s以内とする。
流水状況により、必要な水替えを行なうこと。

Technical drawing of a vertical structure cross-section, likely a well or shaft. The drawing includes the following dimensions and labels:

- Vertical Dimensions:**
 - Top section: 200
 - Main shaft height: 4805
 - Bottom section: 300
 - Bottom offset: 150
- Horizontal Dimensions:**
 - Top offset: 600
 - Inner diameter: HP $\phi 350$
 - Inner diameter: HP $\phi 1000$
 - Inner diameter: 690
 - Inner diameter: 500以内
 - Inner diameter: 62
 - Inner diameter: 283
 - Inner diameter: 155
 - Inner diameter: 310
 - Inner diameter: 1200
 - Bottom offset: 310
 - Bottom offset: 2000
 - Bottom offset: 2620
 - Bottom offset: 310
 - Bottom offset: 150
 - Bottom offset: 2920
- Labels and Notes:**
 - 中間スラブ (Intermediate Slab)
 - 既設空伏せコンクリート (Existing empty concrete)
 - 管更生なし (No pipe renewal)
 - 可とう目地 $\phi 1200$ 設置工 (Flexible joint $\phi 1200$ installation work)
 - 残置立坑 (Residual standing pit)
 - ライナープレート $\phi 4000$ (Liner plate $\phi 4000$)

Technical drawing of a foundation cross-section. The drawing shows a vertical section of a foundation with various dimensions and components labeled.

- Dimensions:**
 - Overall width: 2920
 - Overall height: 3000
 - Top section width: 690
 - Top section height: 283
 - Top section offset: 62
 - Top section width (inner): 500以内
 - Top section width (outer): 155
 - Top section width (inner): 310
 - Top section height (inner): 1000
 - Top section width (inner): 150
 - Top section width (outer): 310
 - Top section width (outer): 2000
 - Top section width (outer): 2620
 - Top section width (outer): 150
- Components and Labels:**
 - 中間スラブ (Intermediate Slab)
 - 既設空伏せコンクリート (Existing empty concrete)
 - 管更生なし (No pipe renewal)
 - 可とう目地φ1000設置工 (Flexible joint φ1000 installation work)
 - 残置立坑 (Remaining standing pit)
 - ライナープレートφ4000 (Liner plate φ4000)
 - HPφ1200 (HP φ1200)
 - HPφ350 (HP φ350)

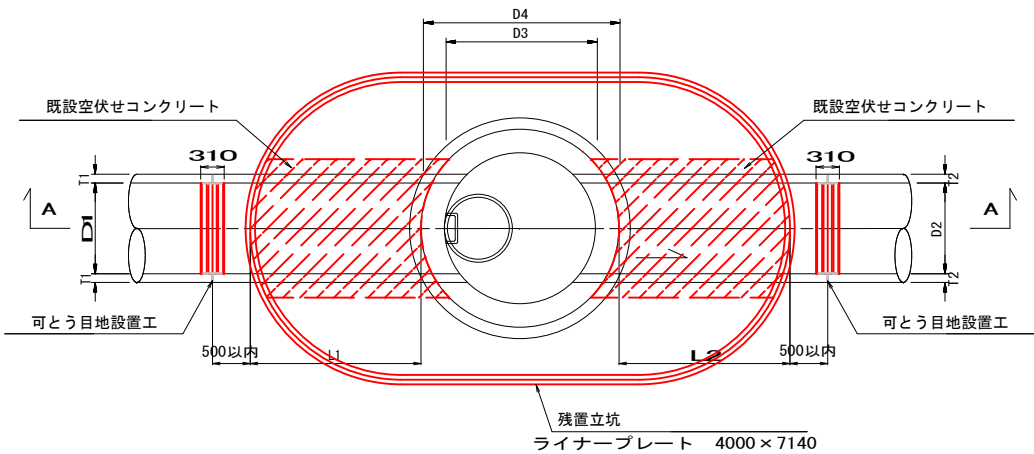
管番号	管種	管径: D1/D2 (mm)	管厚: T1/T2 (mm)	空伏せG延長 L1/L2 (m)	誘導目地深:
K121130002	HP	φ1000	100	0.69	80
K121130001	HP	φ1200	115	0.69	95

工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-9)(余フ)		
工 事 所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図 面 枚 数	10/12	縮 尺	図 示
甲 府 市 上 下 水 道 局			

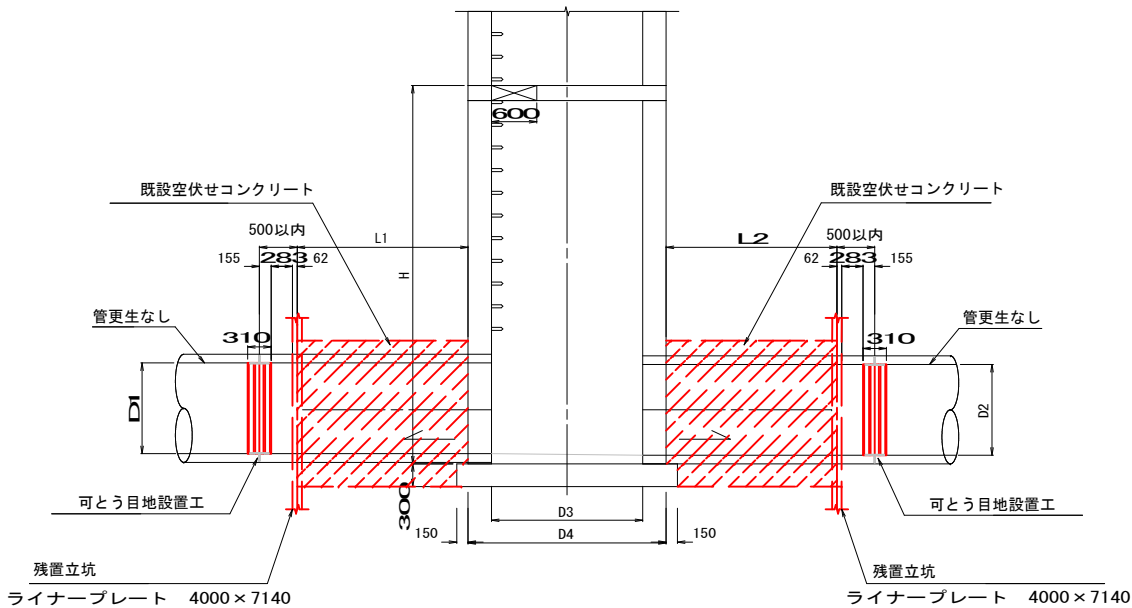
管口耐震化対策標準図

M3～M4、M8～M12、M16～M17（HP管）

平面図 S=1:50
〔推進管〕



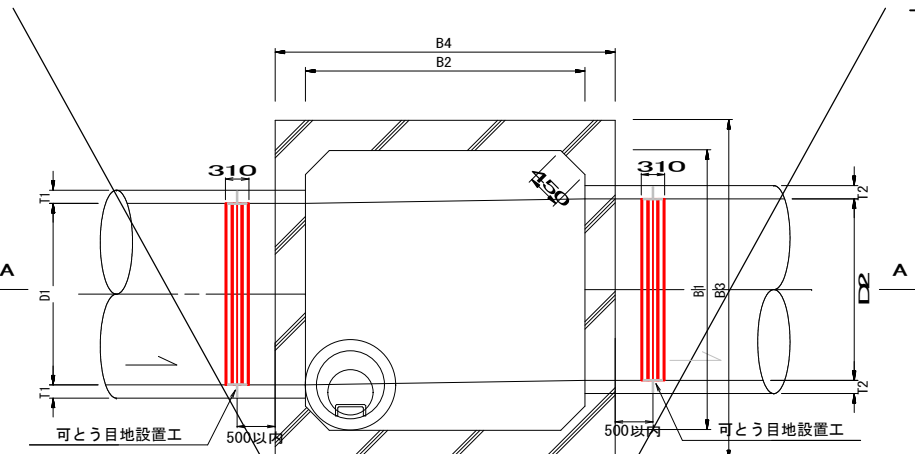
A-A 断面図 S=1:50
〔推進管〕



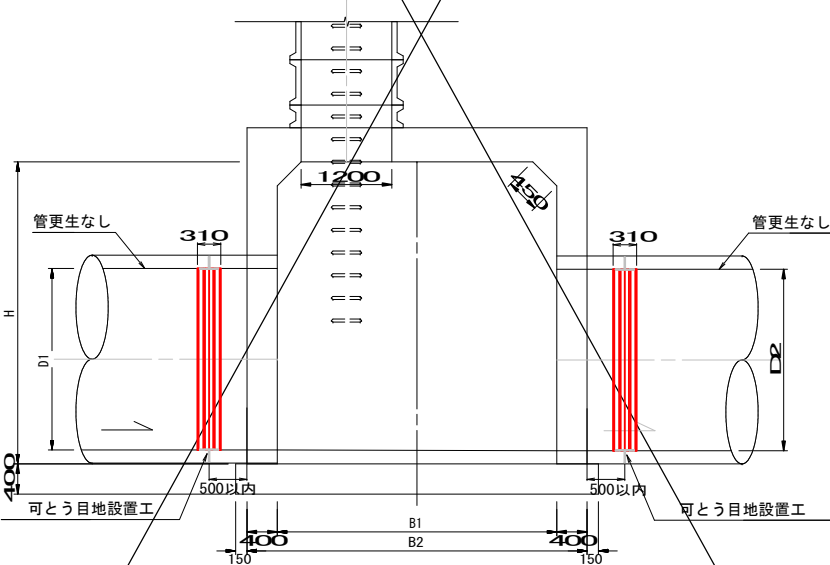
寸法表（推進管）

人孔番号	管番号	人孔寸法: H (mm)	人孔寸法: D3 (mm)	人孔寸法: D4 (mm)	管種	管径: D1/D2 (mm)	管厚: T1/T2 (mm)	空伏せα延長: L1/L2 (m)	誘導目地深: h (mm)
M3 (J121129001)	K121130001	4.60	φ1500	φ2000	HP	φ1200	115	2.57	95
M4 (J121129002)	K121129001	4.51	φ1500	φ2000	HP	φ1200	115	2.57	95
	K121128002				HP	φ1200	115	2.57	95

平面図 S=1:50
〔開削管〕



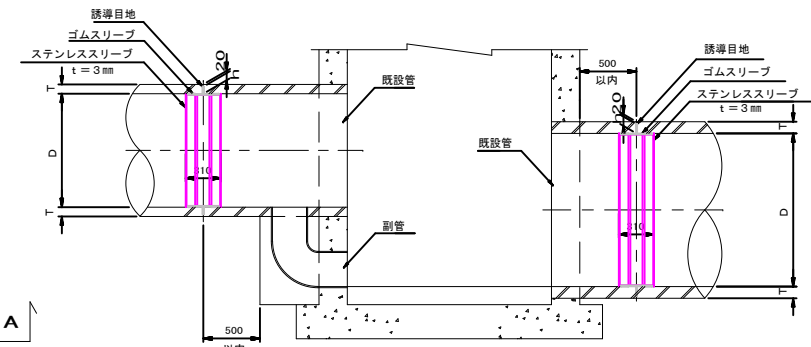
A-A 断面図 S=1:50
〔開削管〕



寸法表（開削管）

人孔番号	管番号	人孔寸法: H (mm)	人孔寸法: B1×B2 (mm)	人孔寸法: B3×B4 (mm)	管種	管径: D1/D2 (mm)	管厚: T1/T2 (mm)	誘導目地深: h (mm)
M7 (J151110002)	K116111046		4500×4500	5300×5300	HP	φ2400	175	155
	K115111002				HP	φ2400	175	155

標準断面図 S=1:30



- ※ 実施にあたっては事前調査を行い壁厚、管継手位置等の測定結果をもとに誘導目地の位置を決定すること。
- 事前調査工は以下の内容とする。
- ① 人孔形状、管径の確認。
 - ② 漏水、浸入水の把握。
 - ③ マンホール、管内の損傷等の確認。
 - ④ 管内径、管厚測定(対象管)、管継手位置測定、管更生の有無。
 - ⑤ 水位、流速の測定(対象管)。

流水状況により、必要な水替えを行なうこと。

工法適用範囲

＜本 管＞

管種：鉄筋コンクリート管・ダクト用鉄管・鋼管・FRPM管
管径：呼び径800～3500

＜マンホール＞

寸法：内径900mm～
ふた径：600mm以上

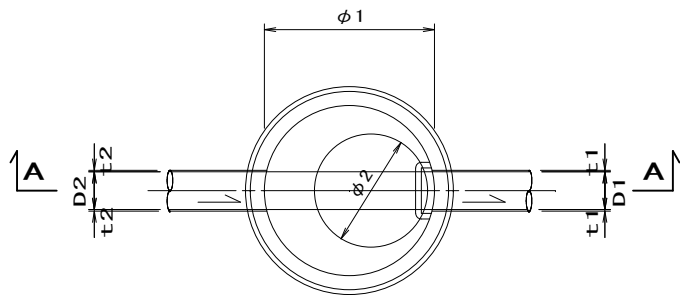
※鉄筋コンクリート 管φ2200：工事施工前に鉄筋探索等の詳細調査を行い、
シールド管（セグメント 構造）が鉄筋コンクリート
管かの確認が必要。

工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-9)(余フ)		
工 事 所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図 面 数	11/12	縮 尺	図 示
甲 府 市 上 下 水 道 局			

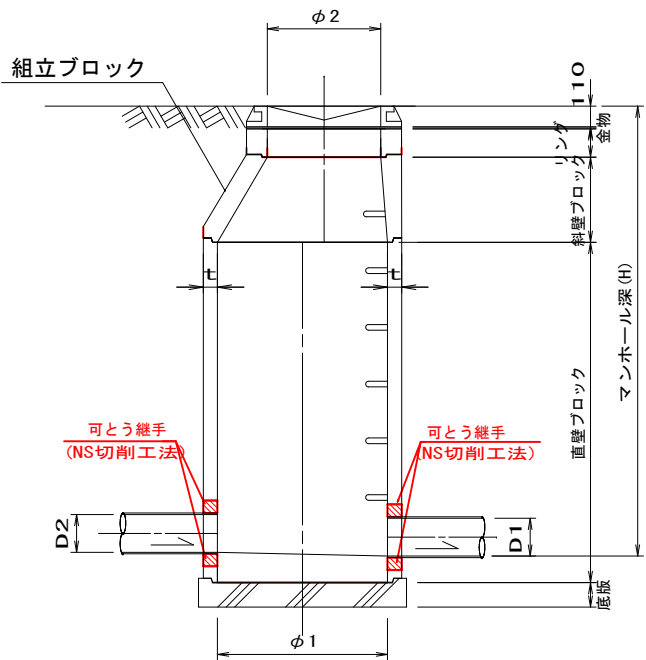
管口耐震化対策構造図

M5～M7（塩ビ管）

平面図 S=1：20



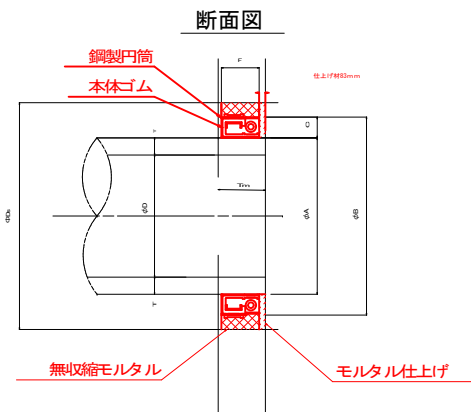
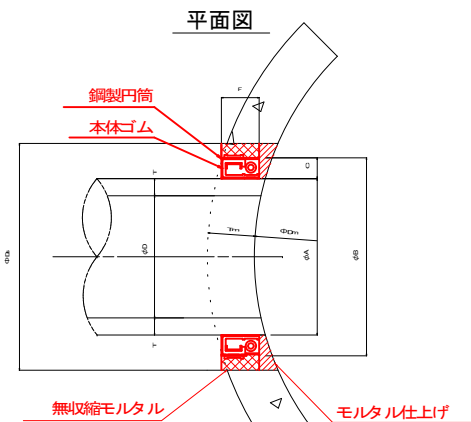
A-A断面図 S=1：20



人孔寸法表

人孔	人孔番号	φ1 (mm)	t (mm)	φ2 (mm)	H (m)	D1 (呼び径)	管種	D2 (呼び径)	管種	t1 (mm)	t2 (mm)
M5	J116117023	φ900	75	φ600	2.030	200	√管	200	√管	80	80
M6	J116117022	φ900	75	φ600	2.350	200	√管	200	√管	80	80
M7	J116117006	φ900	75	φ600	3.390	—	—	200	√管	—	80

可とう継手構造図 S=Free



標準寸法図（適用管種：塩ビ管）

（単位：mm）

呼び径	既設管	本体					人孔形状		
		本体ゴム・鋼製円筒					円形人孔		
	管種	管厚 T	内径 A	外径 B	幅 C	奥行 F	壁厚	内径	削孔径
200	塩ビ管	8	220	282	31	60	75	900	348
250		8.5	271	333	31	60	75	900	400
300		9	322	409	43.5	100	75	900	454
350		10	374	470	48	100	75	900	510
400		10	424	527	51.5	100	75	900	580
450		10	474	574	50	100	75	900	630
500		10	522	586	32	145	75	900	640

工法適用範囲

＜本 管＞

管種：鉄筋コンクリート管・陶管・硬質塩化ビニル管・更生管（複合管）

管径：呼び径200～700

＜マンホール＞

寸法：楕円・矩形900mm×600mm

円形 内径900mm～1500mm

壁厚さ：250mm以下

ふた径：600mm以上

※インバート切削および楕円マンホール900mm×600mmの施工は、呼び径200～300のみ適用

工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-9) (余フ)		
工 事 箇 所	甲府市里吉四丁目地内ほか		
図 面 枚 数	12/12	縮 尺	図 示
甲 府 市 上 下 水 道 局			